

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

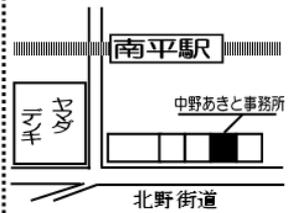
みといと清流

2005年 10月発行 第45号
日本共産党中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 Tel.599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

赤旗

日刊紙1ヶ月 2900円
日曜版1ヶ月 800円
お申し込み・南多摩事務所
Tel.042-374-4384
又は中野事務所へ

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



「新撰組」と箱モノは最優先

第三次「行革」の概要明らかに 子ども、高齢者、障害者を直撃

馬場市長が進めようとしている新たな「行革」の内容が、九月議会に提出された中間報告書で明らかにされました。

この報告書によれば、小学校・保育園の給食調理業務、公立保育園、学童クラブ、図書館、学校事務員の民間委託などが進められ、関係する職員は二五〇人削減されます。

また、小学校、幼稚園の統廃合、障害者ホームヘルプサービスや高齢者の健康管理手当ての削減、下水道料金、保育料の値上げなど、行政の「効率化」「コストの削減」の名の下に、子どもや障害者、高齢者など、もともと弱いところに重い負担を課す計画がずらりと並んでいます。

その一方で「新撰組のふるさと日野」をキーワードに新たな観光まちづくり」といって『道の駅』の設置、日野宿通りを幕末・明治維新の街並みに再生することや、中央公民館の建替え、多目的利用体育館など、お金のかかる公共事業や公共施設の建設計画が目白押しとなっています。

お気軽にお出かけ下さい
中野あきとの市政報告会のお知らせ

- 10月15日(土)午後2時から
ところ豊田地区センター
- 10月16日(日)午後1時30分から
ところ南平西部地区センター



9月市議会・私の一般質問

中野あきと

小児救急体制の充実を

小児救急体制を確立するという問題は、少子化対策という大きな課題としてももちろんですが、日野において子育てしやすい環境づくりをすすめるうえでも大切です。

私は子育て世代の一人として、これまでも何度か取りあげてきましたが、今年の年始以来続いている市立病院小児科救急体制の困難な状況と、高幡福祉支援センター内で始まった平日深夜の子ども診療所の現状についてあらためて質問し、日野のまちの中で三六五日、二四時間の小児救急

体制を確立するようつよく求めました。
担当部長から「子どもの診療所については来年度以降、週三日に拡大していきたい」「市立病院での救急も現状週一日を何とか増やしたい」、市長からは「ご要望に応えるべく努力したい」との答弁がありました。

住環境と市内の貴重な緑を守るために

バブル崩壊後、土地利用の流動化、活性化を誘導しようとし、政府によってすすめられた開発や建築などの都市計画に関する規制緩和策。これによっての間、斜面緑地の開発や、大型マンション建設が次々と行なわれ、住環境をおびやかす事態が進行してきました。

市内でも例外ではありません。昨年、共産党市議団は、丘陵地に豊かに広がる緑地の開発を規制する条例を提案し、市も動かし実現にこぎつけました。私は更に、今回の質問で、盛土の規制や容積率抑制のための規制条例も制定すべきではないかと提案し、市長も「ご提案の方向で考えていきたい」と答弁しました。

市内にまだ残されている貴重な自然を守ろうとすれば、それを壊すような開発にどう立ち向かうかが問われます。そのためには自治体を持つあらゆる機能、権限を發揮する必要があります。

比例前回比1.1倍・田川候補 1.5倍

9月11日投・開票の総選挙で、日本共産党は現有9議席、東京で1議席を維持し、笠井亮氏が当選しました。21区では、田川候補は議席には届きませんでした。比例前回比で1.1倍、選挙区では1.5倍の得票を得ました。

日野市における開票結果

比例代表	小選挙区(東京21区)
自民党 36,048(38.7%)	小川 友一(自) 42,384(47.2%)
民主党 29,437(31.6%)	長島 昭久(民) 38,568(41.8%)
公明党 9,640(10.3%)	田川ゆたか(共) 10,363(11.2%)
共産党 9,153(9.8%)	十河 豊(無) 785(1.4%)
社民党 5,399(5.8%)	
新党日本 3,489(3.7%)	

※公選法の関係で、紙上でお礼を述べることができません。



「当たり前」のことが 実現できるように 都議会議員 村松みえ子

みえ子の 飛びある記

ばたばたと総選挙がたたかわれ、あっという間に都議選から3ヶ月が過ぎてしまいました。いま、改選後初の都議会定例会の最中です。共産党都議団は、「都議会改革に向けての提案」を提出しています。政務調査費の収支報告書に領収書を添付する。海外視察は当面中止し、あり方を再検討する。高率の公費負担がある都議の年金の抜本的改革などなど。時代の流れに沿った当然の内容です。先日、公明党議員の人から「まえに視察に行ったとき、昼間ビールを飲もうとしたら、村松さんにダメと言われて自分のお金で飲んだっけ」と言われました。私は当たり前のことを言ったつもりなのですが…。

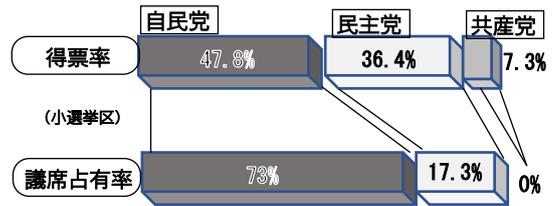


私が委員長になった文教委員会では、審議中は禁煙としました。しかし、こんなことにもけっこう抵抗があるのです。これから、都民の目線がんばります。

「日本共産党」と書いて頂くように、がんばります。

「イメージが」。こんな声
が対話で寄せられたのも「入
れようと思うが」という意
思の現れでもあります。「注
目と期待をよせながらも、ま
だわが党に投票していない方々
も含めた多くの国民の皆さん
に『今度は共産党に入れよう』
と書いていただける大奮闘を」。

小選挙区制 害悪はつきり



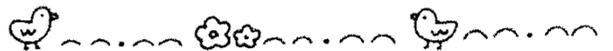
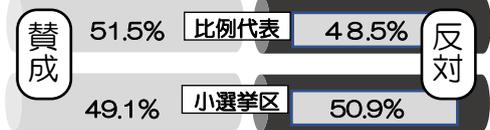
4割台の得票で7割強の議席

今回の総選挙結果は、一つの選挙区で1人しか当選しない小選挙区制が、民意を大きく切り捨てるものである実態を浮き彫りにしました。自民党の小選挙区での得票率は47.8%(約3252万票)なのに、議席占有率は73%(219議席)にのぼります。47.8%の得票率を、小選挙区の議席総数300に比例させて計算すれば143議席、76議席も、民意を超えた、議席を得たことに

なります。一方、民主党は得票率36.4%(約2480万票)で、議席占有率は17.3%(52議席)で計算すれば109議席分にあたります。日本共産党は得票率7.3%(約494万票)で議席占有率はゼロ。得票率で計算すれば、22議席になります。「自民党圧勝」は、多数の「死票」を生み出した、制度の弊害のうえに

小泉「郵政」法案

賛否は半々



《11月の無料法律相談》
村松みえ子事務所 午後6時～8時
定例の第一木曜日祝日のため11月はありません
市役所6階・共産党控室 午後1時～3時
11月10日(木)
※予約が必要ですので、お申し込み下さい。
村松事務所 Tel.582-0504
中野事務所 Tel.599-3350

短信

久しぶりに浅川の堤防を歩きました。もう、川面を渡る風は涼やかです。覆っていた夏草がきれいに刈り取られた土手に、彼岸花だけが茎をのびし、真っ赤な花が秋の彩りをそえていました。四月には市長選。七月都議選。九月は降って沸いたような総選挙。今年は桜もアササイも、とんとご無沙汰でした▼冷静に分析すると「小泉マジック」は、騒がれているほど圧倒的力を発揮したわけではありません。あれだけの大芝居に打って出て、獲得した票はやっと半分です。しかし小選挙区制の弊害は深刻で、結果は安定多数の議席であることも冷厳な事実です▼「党名がねえ」「イメージが」。こんな声